

台風18号に伴う津久見市支援報告書

支援期間 平成29年10月2日(月)～5日(木)

全国歴史資料保存活用利用機関連絡協議会

調査・研究委員会委員

常総市行政文書保全指導員

林 貴 史

支援への経緯

- 9月17日 大分県内で河川氾濫、冠水等の被害発生。
報道で津久見市庁舎浸水情報を把握。
- 9月19日 常総市、臼杵市・津久見市・佐伯市の三市に対し、公文書レスキュー申入れ(ファックスにて)。
- 9月20日 大分県公文書館、被害状況調査。
- 9月22日 大分県公文書館、現地調査実施。
- 9月25日 全史料協、津久見市への支援検討。
- 9月25日 常総市、支援資材の調達開始。
- 9月27日 津久見市と支援日程及び支援内容を調整。
- 9月27日 大分県公文書館と支援日程及び支援内容を調整。
- 9月29日 常総市、支援資材を発送。
- 10月2日 作業指導のため、調査・研究委員会委員を派遣。
- 10月5日 常総市、支援資材を発送。

津久見市内の状況



津久見市内の状況



津久見川と土砂崩れ



公文書被災状況 大分県公文書館調査

20170922 14:44

- ・公文書が被災をしたのは、別館1階部分
- ・泥水が膝まで達した。(水の引きは早く、1～2時間程度)
- ・1階部分は、福祉事務所と選挙管理委員会
- ・被災した公文書は、現在同じく別館の大会議室(福祉事務所分)と会議室(選挙管理委員会)に移動している。
- ・選挙管理委員会分の資料は僅か。福祉事務所分の資料は数えていない。
- ・福祉事務所分は、汚損、水損が酷い状態のものあり。
- ・福祉事務所分は、既に重要度で選別作業を行っている。
- ・大会議室しかスペースがないが、この後、税務関係の業務のため、保管スペースが狭められる。また、選挙となれば大会議室が作業所となり、保管スペースに苦慮する可能性がある。

(大分県公文書館から津久見市への伝達、資料を渡し説明)

- ・ファイルは、原則縦置きにした方がよい。
- ・挟めるようならキッチンペーパー又は新聞紙を挟んでください。
- ・扇風機があれば、室内で回してください。
(1階の電源は本日復旧。扇風機は業務用がある。→資料が飛ばないように注意してください。)
- ・汚損＝廃棄ではなく、救済できるかも知れないので選別は注意してください。
- ・現在の処置は、緊急処置であり、今後、国立公文書館や全史料協へ報告、支援要請となり、救済対応となります。
- ・以上を、関係課の職員全員に周知をしてください。

公文書被災状況 大分県公文書館調査

20170927 16:29

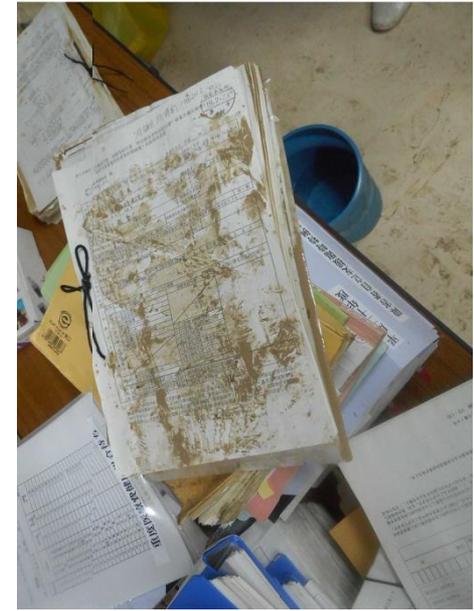
保管場所はインフォメーションセンター2階

- ・本日、文書を床から机等の上に置き直した。
- ・縦置きにし、新聞紙を挟み込んだ。
- ・扇風機4台のほかに、クーラーの除湿を行っている。
- ・対象資料は、294冊

20170929 10:59 (従来の対応をまとめて林へ報告)

- ・被災公文書内訳 福祉事務所284冊 選挙管理委員会10冊 合計294冊 (選管分は当日運び込み)
- ・ファイルは机の上等に縦置き(国立公文書館等の指導)
- ・扇風機で送風。室内は除湿も実施。
- ・水損等で開けない状態のものを除き、新聞紙を挟む
- ・福祉事務所は重要度で選別作業実施。(完了したかどうかは不明。)
- ・福祉事務所神田主幹が主に担当。本務空き時間で対応。
- ・福祉事務所の嘱託職員が数名援助。

公文書被災状況（福祉事務所） 大分県公文書館撮影(9/22)



公文書被災狀況(福祉事務所) 大分県公文書館撮影(9/22)



公文書被災状況(選挙管理委員会)

大分県公文書館撮影(9/22)



津久見駅と文書保管場所



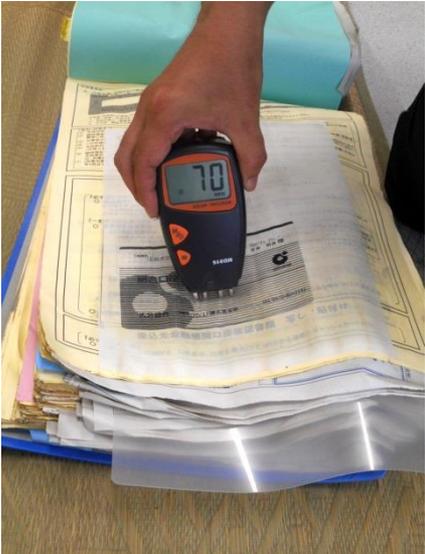
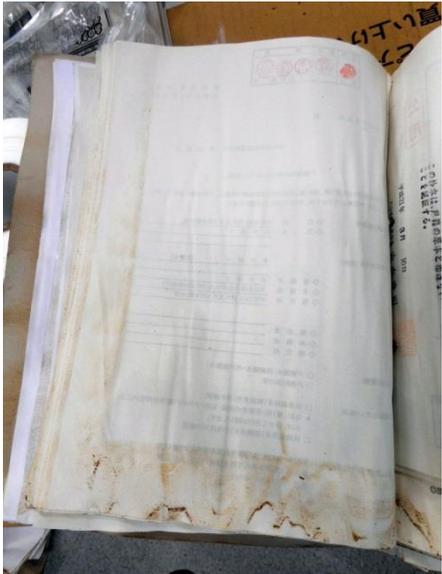
10月2日作業説明と被災文書の状況 大分県公文書館撮影(9/22)



日本生命保険相互会社 大分支店
電話 0120-201091

調査日 平成21年10月20日

1	保険機関				
2	証券の記号番号				
3	保険の種類				
4	保険金額	円	円	円	円
5	保険料	円	円	円	円
6	特約保険料	円	円	円	円
7	保険契約者				
8	被保険者				
9	遺言特受取人				
10	死亡特受取人				
11	契約年月日				
12	保険期間				
13	特約の内容				
14	保入金額				
15	解約返戻金	現在	現在	現在	現在
		円	円	円	円
		現在	現在	現在	現在
		円	円	円	円



作業内容

10月2日(月)

午後1時 現地着

状況確認

作業手順・カビ防護等のレクチャー

吸水資材の挟み込み、風乾効率向上のため並べかえ

作業従事者 津久見市2名、大分県公文書館2名

午後4時30分 作業終了

10月3日(火)

午前9時 作業開始

吸水資材の挟み込み

作業従事者 津久見市5名

午後4時30分 作業終了

10月4日(水)

午前9時 作業開始

吸水資材の挟み込み、文書再配置(担当別に分類)

作業従事者 津久見市 午前 5名 午後4名

午後4時30分 作業終了

10月5日(木)

午前9時 作業開始

文書再配置(担当別に分類)

作業工程及び今後の作業上の注意点をレクチャー

午前11時30分 作業終了

今後の対応レクチャーと終了時の配置 大分県公文書館撮影



作業終了時の配置



メール要旨 1

・20170920 17:12 全史料協調査研究委員会事務局→委員

今回の台風被災に関する大分県公文書館からのメールを転送。

津久見市に関しては、担当部署が多忙で状況が未だ把握できない

大分県公文書館→全史料協調査研究委員会事務局

津久見市、臼杵市、佐伯市の3市に連絡

臼杵市と佐伯市 庁舎等に被害はなく、公文書等の被災がなし。

津久見市 庁舎も一部が浸水する被害が発生。災害対応部署が文書管理部署を兼務。被災地対応で連絡がつかない。

公文書等の被災→全史料協等のレスキューの支援が可能である旨をFAXで送信。

20170922 9:11 全史料協調査研究委員会事務局→委員

現用の文書が多数水損か。

津久見市の担当者が多忙。大分県公文書館が現地へ行くとのこと。

その結果で防災ネットワークと会長事務局に報告。対応依頼予定。

大分県公文書館→全史料協調査研究委員会事務局

津久見市の被災状況

①一般的な机の中央の引出まで浸水したため、文書の被災がある。

②被災文書は、階上にあげて、乾燥する処置を取っている。

③レスキューを希望している。

防災担当と文書管理担当が兼務。被災対応中心。

報告として必要な事項を提示してほしい。提示内容で担当へ連絡。

国立公文書館業務課 総括係 岡西涼さんからも問い合わせがあり。

同内容でメールを送信。

20170922 15:34 全史料協調査研究委員会事務局→委員

現用文書を中心に水損がひどく、レスキューを希望する意向あり。

会長事務局と防災ネットワークに報告し、支援を依頼したい。

全史料協の窓口は当委員会なと思います。

・大会議室はこの後税務業務や選挙の作業所となり、保管スペースに苦慮する

大分県公文書館→全史料協調査研究委員会事務局

・公文書が被災をしたのは、別館1階部分
・泥水が膝まで達した。(水の引きは早く、1～2時間程度)

・1階部分は、福祉事務所と選挙管理委員会

・被災公文書は、別館の大会議室と会議室に移動。

・選挙管理委員会分は僅か。福祉事務所分は数えていない。

・福祉事務所分は、汚損、水損が酷い状態のものあり。福祉事務所分は、既に重要度で選別作業を行っている。可能性有。

・扇風機を回す。(電源復旧済。扇風機は業務用有。→資料が飛ばないように注意。)

・汚損＝廃棄ではなく、救済できるかも知れないので選別は注意。

・現在の処置は緊急処置。今後、国立公文書館や全史料協へ報告、支援要請、救済対応。

・以上を、関係課の職員全員に周知。

今後の連絡窓口について、担当者の携帯にかけて欲しいと回答があり。

調査私感

・水損がひどい。→全ページ濡れたままで開くこともできない状態の文書が多数あり。

・汚損は表面やめくる部分に多い。開けない資料も多いため、全体把握は困難。

・保管・作業場所の問題が生じる可能性有。

今後の方針等について、連絡をいただければと思います

20170923 9:00

全史料協調査研究委員会事務局→委員

青木さんからのメール。現地での統括者が必要。

防災ネットワークの回答

①非永年の現用文書が文化財といえるか

②大分県や全史料協としての現地での支援体制がないと、ネットワークも動けない

九博と国立公文書館に連絡。(国立公文書館は支援物資の検討)

常総市と津久見市との調整し、常総市職員を派遣で調整。

現地指導と国立公文書館及び常総市からの支援物資の提供(または現地でのマンパワーの応募)などで済めばその方向で対応。

現地視察の結果、ネットワーク等への支援要請が必要であれば、新たな対応を検討。

メール要旨 2

20170927 18:06

全史料協調査研究委員会事務局→調査研究委員会委員及び事務局

大分県公文書館からの津久見市の状況に関するメール転送

林さんに10/2～5に津久見市で視察及び指導(津久見市と連絡済み)。

常総市が10/2着予定で必要な物資を発送(津久見市と連絡済み)。

今後の対応は、林さんの報告待ち。

国立公文書館は支援を決定。支援物資のリスト化、技術指導の人員派遣を考慮(岡西さんと連絡済み)。

* 現在、津久見市との対応は、大分県公文書館が窓口。

今後は、国立公文書館の被災公文書等救援チームと連携し対応。

全史料協調査研究委員会事務局→大分県公文書館

①林貴史氏(常総市、全史料協調査研究委員会)が10/2(月)に現地入りし、現状把握と技術指導を行う予定。(林氏は10/5まで滞在予定)

②常総市は支援物資を10/2着で発送予定。

③今後の対応は、林氏の報告後検討。

国立公文書館の岡西さんと電話連絡。情報共有し対応を検討。

大分県公文書館、防災ネットワークとも情報共有し対応。

大分県公文書館→全史料協調査研究委員会事務局

文書を床から机等の上に置き直し、縦置きにし、新聞紙を挟み込んだ。
扇風機4台のほかに、クーラーの除湿を行っている。

対象資料は、294冊

10月2日(月)午後から、全史料協調査研究委員会の林氏現地入り。

・乾燥作業用の物資は、常総市から宅配便で送付する予定。

・福祉事務所神田主幹が主に担当。本務(ケースワーカー)もあり、空き時間で対応。

福祉事務所の嘱託職員が数名援助。

全史料協調査研究委員会事務局→文化財防災ネットワーク推進室
台風18号による津久見市役所の被害に関して、現地視察した大分県公文書館報告。

現用文書を中心に、多数の水損資料有。同市役所内でその対応に追われている。

津久見市ではレスキューを希望する意向であり。

被害が大きく、総選挙も近いのではなど、かなり不安な様子だった。

防災ネットワーク推進室の方で、支援を検討して頂きながらも、一早く連絡を入れていただくと、先方も安心すると思うとのこと。

連絡に関しては、下記のメールでは固定ではつながりにくく、担当者への携帯へ、とあるが、代表の固定電話で大丈夫とのこと。

上記、ご検討いただき、対応について連絡を頂ければ幸いです。

(20170922 15:34 大分県公文書館→全史料協調査研究委員会事務局メール添付)

20170926 9:01

全史料協調査研究委員会事務局→調査研究委員会委員及び事務局

防災ネットワークからメール有。

全史料協としての対応。調査研究委員会として、現地視察と指導を予定。(会長事務局にも報告済み)

津久見市役所と調整のうえ、現地の状況をふまえた対応。

文化財防災ネットワーク推進室→全史料協 近藤萌美 石井裕様

1. 被災した資料は津久見市福祉事務所及び選挙管理委員会の現用公文書である。

2. 現在津久見市の職員によって机のうえに上げるなどの処置をしている。

3. 大分県公文書館として、現地での救出保全活動を管理することができない。

4. 国立公文書館は、現用公文書も救援を行うべきものと考え、具体的な方針は要検討。

5. 救援活動が入るとき、現場を誰が差配するかが津久見市の体制も含め見えていない。

文化財担当の所管ではなく、文書担当に受入体制を整えてもらう必要がある。

ネットワークに参加している関係団体がその専門性において救出保全活動を行う

防災ネットワーク推進本部は、ネットワークを機能させ、協力体制を作る

メール要旨 3

20170929 10:59

大分県公文書館→全史料協 林

- ・保管場所はインフォメーションセンター2階
- ・被災公文書内訳 福祉事務所284冊 選挙管理委員会10冊 合計294冊 (選管分は当日運び込み)
- ・ファイルは机上等に縦置。(国立公文書館等の指導)扇風機で送風。除湿も実施。
- ・水損等で開けない状態のものを除き、新聞紙を挟む
- ・先週から、福祉事務所は重要度で選別作業実施。(完了したかどうかは不明です。) 20171003 8:55

全史料協調査研究委員会事務局→調査研究委員会委員及び事務局

公文書の被災状況は、初期処置が良かった。現状としてひどい状況ではない。(市役所は通常業務をすでに再開)

4日間の指導で、乾燥その他、今後を見据えた指導を行う予定。
国立公文書館への技術指導を依頼。津久見市と大分県公文書館に含めておく。

現時点では、全史料協としての初動はこれで一段落。

20171004 17:10

全史料協調査研究委員会事務局→調査研究委員会委員及び事務局

- ・キッチンペーパーを挟む乾燥作業は本日で完了
- ・乾燥作業には、毎日5名ほどの市職員が参加
- ・文書主管課、文化財担当課の方も見学有。
- ・現用文書は国立公文書館、文化財は防災ネットワークの支援有と説明。
- ・明日が最後の作業だが、大分県公文書館から出席予定

大分県公文書館の初期指導が適切でわかりやすいものだったことで、市役所の方にもとっつきやすくて良かったのでは。その後に専門家と支援物資が入ったという段階を踏んだことが現地での作業をやりやすくした。

20171006 9:49

全史料協調査研究委員会事務局→調査研究委員会委員及び事務局

大分県公文書館からのメール転送。

大分県公文書館→全史料協調査研究委員会事務局

林さんのご指導により、4日間にわたる応急作業が本日完了。
作業完了後の写真と林さんから配付された作業工程を送付。
津久見市の職員にも文書の扱いが理解でき、今後の対応に向けて十分役立った。

乾燥後のクリーニングで、支援が必要になる可能性有。(クリーニング方法の指導)

当館でも定期的に確認等を行いたい。